

学校設定科目「私達が立っている場所」を受講したみなさんへ

アンケートのお願い

大阪府立今宮高等学校
国語科 小山秀樹

みなさん、お元気ですか。それぞれの場所で、活躍していることでしょう。学校設定科目「私達が立っている場所」は2000年4月の開講以来、今年で10年を迎えます。現代の課題をつかむことばを養い、そのことばで課題を切り開いていく力をつける授業として取り組んできました。受講者のみなさんの率直で鋭い意見に励まされ、助けられて教材の精選と授業方法の工夫、改善を重ねて現在も続けています。10年の間、授業見学に多くの先生方に来校いただき、国語教育の専門誌や論文にも取り上げられたり、国語教科書を通して、この授業の学びを発信する機会を得たりすることもできました。

今宮高校の学校設定科目としてここまで授業を続け、深めることができたのも、受講したみなさんが熱心に取り組み、素晴らしい学びの成果を上げてくれたからだと思います。そこで10年をひとつの区切りにし、今後さらに深く授業を展開していくために、みなさんに「私達が立っている場所」の学びを検証するアンケートをお願いしたいと思います。「私達が立っている場所」の授業の学びは卒業後、現在までの生活のなかで生きてでしょうか？授業の学びやことばを思い出したり、確信したりすることがあったでしょうか？役だったと感じられたことがあったでしょうか？具体的にお聞かせください。ご多忙の折申し訳ありませんが、よろしくご協力をお願いします。

今後のみなさんのご活躍をお祈りしています。時間がありましたら、学校にもお寄り下さい。今宮高校はみなさんにとって素晴らしい思い出の場、また新しい出発を応援する場でもあります。私もまたみなさんから多くの刺激を得たいと思います。

返信は、以下のいずれかの方法をお願いします。

- 1 同封の返信用封筒に入れて返信
- 2 今宮高校のHP (<http://www.osaka-c.ed.jp/imamiya/>)から返信
 - ・HP右下の「私達が立っている場所」のページから入ってください。
 - ・アンケート入力画面へのパスワードは、郵送でのお願いの文書の中に記入しています。
 - ・携帯電話からでもアンケートの入力が可能です。
携帯電話用 URL <http://imamiya.sakura.ne.jp/weare/en/>
(ユーザー名・パスワードは同じです。)

アンケート結果につきましては、web上でお知らせする予定です。

(まとめの都合上返信期限は9/30(水)までとさせていただきます。)

* 学校設定科目「私達が立っている場所」について

「私達が立っている場所」はどんな授業だったかをふり返ってみたいと思います。

- 1 あつかった主な教材
 - 「『である』ことと『する』こと」 丸山真男
 - 文学のふるさと 坂口安吾
 - 歴史としての科学 村上陽一郎
 - 君たちはどう生きるか 吉野源三郎
 - パニック 開高健
 - バッタと鈴虫 川端康成
- 2 授業の方法
 - a グループ発表
 - 年間2回をめぐり、4～5人がグループになって発表形式で授業を進めました。本発表、補充発表を班は実施。聞くものは感想表を書きます。Q & Aのことばに懐かしさを感じる人がいるかもしれません。
 - b 講義授業
 - グループ発表以外は講義授業が中心でした。フリートークで脱線することもしばしばでした。
 - c 特別授業・オープンスクール授業など
 - 外部講師を招いての授業、討論会、オープンスクールでの発表などにも取り組みました。

資料も同封させていただきます。

授業の詳細については、以下の方法でweb上で見ることができます。是非ご覧ください。

* googleで「私達が立っている場所」と入力して検索する。

(一番最初に表示されます。今宮高校のHPからも入ることができます。)

「私達が立っている場所」受講者アンケート

()期氏名()

*直接この用紙にお書き下さい。裏面も使っていただいて結構です。

- 1 選択した動機についてお聞きします。なぜこの科目を受講しましたか？
(複数回答可)

- 1 現代文の力をつけたかったから。
- 2 学校設定科目をとっておきたかったから。
- 3 グループ発表など授業の方法に魅力を感じて。
- 4 先輩や先生からのアドバイスがあったから。
- 5 担当者(小山)の授業をとりたかったから。
- 6 なんとなく。
- 7 その他 ()

- 2 よく学べた授業、印象に残っている授業は何ですか？番号に を打ってください。
()は作品のキーワードです。(複数回答可)

グループ発表

- 1 「『である』ことと『する』こと」 丸山真男(制度の自己目的化・価値の蓄積)
- 2 歴史としての科学 村上陽一郎(パラダイム論・対自化・知的冒険)

講義授業

- 3 文学のふるさと 坂口安吾(救いがないことが救い・大人の仕事)
- 4 君たちはどう生きるか 吉野源三郎(人間は水の分子・油揚事件)
- 5 パニック 開高健(ネズミの大移動・組織と人間)
- 6 バッタと鈴虫 川端康成(光の戯れ・恋愛の駆け引き)
- 7 安楽への全体主義 藤田省三(能動的ニヒリズム)
- 8 掟 E.カフカ(番人・掟はおまえだけのもの)
- 9 テクストについて 中島俊(人間はテクスト的存在)
- 10 コールドチェーンとひそやかな意志 森崎和江(トマトが泣いている)

特別授業

- 11 ニーチェとの対話 芝田秀和先生<本校教頭>
- 12 言葉に執して生きた人々(本居宣長) 芝田秀和先生<本校教頭>
- 13 短歌創作・合評授業 植山俊宏先生<京都教育大学教授>

オープンスクール体験授業

- 14 今宮高校合格必勝マニュアルづくり
- 15 もし世界が100人の村だったら

受講者からの課題解決授業

- 16 服装自主規制・下校時間を考える(グループ研究)
- 17 パネルディスカッション「生きるとは？」
- 18 その他()

- 3 授業の学びについてお聞きします。「私達が立っている場所」では、どのような学びがありましたか？あてはまるものをつけてください。(複数回答可)

- 1 教材を読み込む力がついた。
- 2 現代文の力がつき、受験に役立った。
- 3 グループで話し合うことにより、仲間と学び合うことができた。
- 4 発表やプレゼンテーションの能力を身につけることができた。
- 5 必要な事柄を資料としてまとめる力を身につけることができた。
- 6 時間がない状況で協力して学習する力を身につけることができた。
- 7 課題を取り上げ、解決する道筋を考えていくことができるようになった。
- 8 現代社会に対する問題意識を持つことができた。
- 9 期待したほど学べなかった。
- 10 その他()

自由記述欄

- 4 「私達が立っている場所」の授業が、卒業後から現在までの間、生きたと感じたことはありましたか？

(学習内容・発表の仕方など、どのようなことでもけっこうです。)

- 1 あった
- 2 なかった

5 3であったと答えた人にお聞きします。それは、どのような場面で生きたでしょうか？
(複数回答可)

- 1 大学や専門学校の勉強
 - 2 職業生活
 - 3 毎日の生活
 - 4 友人との会話
 - 5 その他
- 自由記述欄

6 「私達が立っている場所」の授業の学びがどのように卒業後に生きたか、具体的に教えていただければと思います。

(自由にお書きください。長さに制限はありません。メール等で送っていただいても結構です。些細なこと、個人的なこと、どんなことでも結構です。書かれた内容の秘密は厳守します。安心してお書きください。)

5 授業や今宮高校の思い出、アドバイスなど、今宮高校で学ぶ後輩達へメッセージをお願いします。

ありがとうございました。この用紙をご返送下さい。

または、

今宮高校の HP <http://www.osaka-c.ed.jp/imamiya/>
携帯電話用 URL <http://imamiya.sakura.ne.jp/weare/en/>
から入力してください。